



2022年12月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2022年5月9日
東

上場会社名 Appier Group株式会社 上場取引所
 コード番号 4180 URL http://www.appier.com/
 代表者 (役職名)代表取締役CEO (氏名)游 直翰
 問合せ先責任者 (役職名)Senior Vice President of Finance (氏名)橋 浩二 (TEL) 03(6435)6617
 四半期報告書提出予定日 2022年5月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト 向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 2022年12月期第1四半期の連結業績 (2022年1月1日～2022年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		EBITDA※		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年12月期第1四半期	4,197	52.7	262	—	3	—	△27	—	△46	—	△46	—	1,266	—
2021年12月期第1四半期	2,749	26.8	△111	—	△536	—	△548	—	△581	—	△581	—	△55	—

※EBITDA=営業利益+減価償却費及び無形資産償却費+営業費用に含まれる税金費用+上場関連費用

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
2022年12月期第1四半期	円 銭 △0.46	円 銭 △0.46
2021年12月期第1四半期	円 銭 △6.38	円 銭 △6.38

- (注) 1. 2021年1月29日付で、当社の唯一の株主であったAppier Holdings, Inc. に対し普通株式90,761,489株の株式無償割当を行いました。これに伴い、2021年12月期の期首に当該株式無償割当が行われたと仮定して基本的1株当たり利益及び希薄化後1株当たり利益を算定しております。
2. 当第1四半期連結会計期間末に存在する普通株式1,579,471株相当のストック・オプションは、1株当たり四半期損失に対して逆希薄化効果を有するため、希薄化後1株当たり四半期損失の算定に含まれておりません。当該ストック・オプションは、将来において基本的1株当たり利益を潜在的に希薄化させる可能性があります。

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
2022年12月期第1四半期	百万円 31,969	百万円 24,114	百万円 24,114	% 75.4
2021年12月期	百万円 31,206	百万円 22,836	百万円 22,836	% 73.2

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2021年12月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 0.00
2022年12月期	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —
2022年12月期(予想)	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年12月期の連結業績予想（2022年1月1日～2022年12月31日）

（％表示は対前期増減率）

	売上収益		EBITDA※		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益	基本的1株 当たり当期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭	
通 期	17,791	40.5	804	—	△288	—	△326	—	△417	—	△417	—	△4.12

※EBITDA＝営業利益＋減価償却費及び無形資産償却費＋営業費用に含まれる税金費用＋上場関連費用

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 ： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2022年12月期1Q	101,220,847株	2021年12月期	101,164,657株
2022年12月期1Q	80株	2021年12月期	—株
2022年12月期1Q	101,187,972株	2021年12月期1Q	91,071,746株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

(注) 2021年1月29日付で、当社の唯一の株主であったAppier Holdings, Inc. に対し普通株式90,761,489株の株式無償割当を行いました。これに伴い、2021年12月期の期首に当該株式無償割当が行われたと仮定して、期末発行済株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提になる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	6
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	7
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	9
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(親会社の所有者に帰属する持分の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

「将来の事象を予測する人工知能(AI)を用いて、データに基づく意思決定に従い、顧客企業の事業が成長・成功することを支援する」ことが当社グループのミッションです。当社グループは、将来、全ての企業のソフトウェアにAIが搭載され、企業の意思決定がより正確で自動的にかつユーザーの行動を先回りするような形で実行されるようになると想定しています。

当第1四半期連結累計期間においては、営業体制の強化を行い、かつ、継続的にソリューションの改善に努めた結果、当社サービスへの需要が拡大することとなりました。2022年3月におけるARR(注1)は15,758百万円となり、2021年3月の10,572百万円からの成長率は49.1%となっています。また、当第1四半期連結累計期間の売上収益は4,197,460千円(前年同期比52.7%増)となりました。

当第1四半期連結累計期間の売上総利益は2,100,834千円(前年同期比60.3%増)となりました。これは、CrossXのアルゴリズムの正確性が増したことに伴いより効率的なマーケティングキャンペーンの実施が可能になったこと、かつ、売上総利益率の高いAIQUA、AiDeal及びAIXONからの売上が増えたため、売上総利益率が改善したことによるものであります。将来的な事業拡大のために営業人員やエンジニアの人件費等に対する先行投資を引き続き行いましたが、売上総利益の拡大がこれを上回ったことにより、EBITDA(注3)は261,818千円の黒字(前第1四半期連結累計期間は111,894千円の損失)、営業利益は3,185千円(前第1四半期連結累計期間は535,631千円の損失)、税引前四半期損失は27,296千円(前第1四半期連結累計期間は548,421千円の損失)、親会社の所有者に帰属する四半期損失は46,444千円(前第1四半期連結累計期間は581,114千円の損失)となりました。

- (注) 1. Annual Recurring Revenueの略。年間経常収益。利用量ベースの価格体系で提供するソリューションについては、関連する期間における1か月平均のリカーリング売上収益(注2)を12倍し、サブスクリプション方式で提供するソリューションについては、関連する期間の最終月のリカーリング売上収益を12倍することで年換算して得られた金額です。2022年3月のARRは、利用量ベースの価格体系で提供するソリューションについては2021年10月から2022年3月のリカーリング売上収益の1か月平均を12倍し、サブスクリプション方式で提供するソリューションについては2022年3月のリカーリング売上収益を12倍して算出しております。
2. リカーリング顧客(利用量ベースの価格体系で提供するソリューションについては、①当社グループのソリューションを4四半期以上連続で使用している顧客企業及び②直近1年以内の新規顧客企業で当社グループのソリューションを3か月以上連続で使用している顧客企業を、サブスクリプション方式で提供するソリューションについては、当社グループと1年以上の契約を締結している顧客企業をいいます。)からの売上収益
3. EBITDA=営業利益+減価償却費及び無形資産償却費+営業費用に含まれる税金費用+上場関連費用

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び資本の状況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は31,969,259千円であり、前連結会計年度末に比べて763,686千円増加しております。流動資産は前連結会計年度末に比べて274,283千円増加しており、主な増加要因は定期預金の預入による増加（前連結会計年度末比2,068,837千円増）、純損益を通じて公正価値で測定する金融資産の取得によるその他の金融資産の増加（同974,465千円増）、売上収益の増加による営業債権の増加（同229,014千円増）によるものであり、主な減少要因は定期預金の預入による現金及び現金同等物の減少（同2,884,303千円減）であります。非流動資産は前連結会計年度末に比べて489,403千円増加しており、主な増加要因は資産化の要件を満たす開発費用の資産計上によるのれん及び無形資産の増加（同525,162千円増）であります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は7,855,366千円であり、前連結会計年度末に比べて514,519千円減少しております。流動負債は前連結会計年度末に比べて420,308千円減少しており、主な減少要因は賞与の支払によるその他の債務の減少（前連結会計年度末比380,304千円減）であります。非流動負債は前連結会計年度末に比べて94,211千円減少しております。

(資本)

当第1四半期連結会計期間末の資本合計は24,113,893千円であり、前連結会計年度末に比べて1,278,205千円増加しております。主な増加要因は為替変動によるその他の資本の構成要素の増加（前連結会計年度末比1,312,566千円増）であります。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、3,676,603千円（前連結会計年度末比2,884,303千円減）となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は341,230千円となり、前第1四半期連結累計期間の支出622,285千円と比べ、281,055千円支出が減少しました。主な支出の増加要因は営業債権の増加172,320千円（前第1四半期連結累計期間は営業債権が231,966千円減少）、その他の債務の減少353,532千円（前年同期比でその他の債務の減少額が250,313千円増加）、営業債務の減少135,070千円（前第1四半期連結累計期間は営業債務が28,028千円増加）であり、主な支出の減少要因は税引前四半期損失の縮小（前年同期比で521,125千円損失が縮小）、契約資産の減少131,913千円（前第1四半期連結累計期間は契約資産が360,675千円増加）、減価償却費及び無形資産償却費の増加（前年同期比111,185千円増加）であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は2,568,662千円となり、前第1四半期連結累計期間の収入246,731千円と比べ、2,815,393千円支出が増加しました。主な支出の増加要因は、定期預金の預入による支出の増加（前年同期比1,162,668千円増加）、純損益を通じて公正価値で測定する金融資産の取得による支出930,691千円（前第1四半期連結累計期間はゼロ）、定期預金の払戻による収入の減少（前年同期比529,460千円減少）、無形資産の取得による支出の増加（前年同期比190,967千円増加）であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は122,472千円となり、前第1四半期連結累計期間の収入13,448,679千円と比べ、13,571,151千円支出が増加しました。主な支出の増加要因は株式の発行による収入の減少（前年同期比13,568,092千円減少）であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間においては、新規顧客の獲得および既存顧客の拡大が予想を上回ったことに加え、AIアルゴリズムの正確性が増したこと及び売上総利益率の高いソリューションの売上構成比が増えたことにより売上総利益率が改善した結果、売上収益及び各段階損益ともに2022年2月14日に公表した業績予想を上回って推移しております。このため、2022年度の通期連結業績予想を修正することに致しました。

詳細については、2022年5月9日に開示した「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年3月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	6,560,906	3,676,603
定期預金	14,939,084	17,007,921
契約資産	889,153	794,907
営業債権	1,921,124	2,150,138
その他の債権	69,733	33,426
その他の流動資産	103,964	120,787
その他の金融資産	—	974,465
流動資産合計	24,483,964	24,758,247
非流動資産		
有形固定資産	138,885	138,841
使用権資産	3,045,855	2,957,359
のれん及び無形資産	2,977,175	3,502,337
繰延税金資産	180,548	179,954
その他の金融資産	379,146	432,521
非流動資産合計	6,721,609	7,211,012
資産合計	31,205,573	31,969,259
負債及び資本		
負債		
流動負債		
借入金	2,096,881	2,129,962
契約負債	97,685	103,554
営業債務	1,477,760	1,408,873
その他の債務	1,489,481	1,109,177
未払法人所得税	18,270	14,798
リース負債	492,672	506,083
その他の流動負債	77,424	57,418
流動負債合計	5,750,173	5,329,865
非流動負債		
引当金	50,940	51,693
繰延税金負債	10,040	10,262
リース負債	2,558,732	2,463,546
非流動負債合計	2,619,712	2,525,501
負債合計	8,369,885	7,855,366
資本		
資本金	7,526,244	7,527,324
資本剰余金	23,644,664	23,655,725
自己株式	—	△58
利益剰余金	△9,494,299	△9,540,743
その他の資本の構成要素	1,159,079	2,471,645
親会社の所有者に帰属する持分	22,835,688	24,113,893
資本合計	22,835,688	24,113,893
負債及び資本合計	31,205,573	31,969,259

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

要約四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)
売上収益	2,749,281	4,197,460
売上原価	△1,438,600	△2,096,626
売上総利益	1,310,681	2,100,834
販売及びマーケティング費用	△1,020,575	△1,346,164
研究開発費	△422,288	△460,787
一般管理費	△405,001	△348,739
その他の収益	3,524	59,335
その他の費用	△1,972	△1,294
営業利益 (△損失)	△535,631	3,185
金融収益	10,617	16,196
金融費用	△23,407	△46,677
税引前四半期損失 (△)	△548,421	△27,296
法人所得税費用	△32,693	△19,148
四半期損失 (△)	△581,114	△46,444
四半期損失 (△) の帰属		
親会社の所有者	△581,114	△46,444
基本的1株当たり四半期損失 (△) (円)	△6.38	△0.46
希薄化後1株当たり四半期損失 (△) (円)	△6.38	△0.46

要約四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)
四半期損失(△)	△581,114	△46,444
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定するものとして指定した資本性金 融商品の公正価値の純変動額	—	41,226
純損益に振り替えられることのない項 目合計	—	41,226
純損益に振り替えられる可能性のある項 目		
在外営業活動体の外貨換算差額	525,982	1,271,340
純損益に振り替えられる可能性のある 項目合計	525,982	1,271,340
その他の包括利益合計	525,982	1,312,566
四半期包括利益	△55,132	1,266,122
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	△55,132	1,266,122

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)

(単位:千円)

	親会社の所有者に帰属する持分							
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素			資本合計
					在外営業活動 体の換算差額	その他の包括 利益を通じて 公正価値で測 定する金融資 産	合計	
2021年1月1日残高	0	16,248,390	—	△8,315,781	△264,441	—	△264,441	7,668,168
四半期損失(△)	—	—	—	△581,114	—	—	—	△581,114
その他の包括利益	—	—	—	—	525,982	—	525,982	525,982
四半期包括利益	—	—	—	△581,114	525,982	—	525,982	△55,132
新株の発行	6,784,074	6,581,684	—	—	—	—	—	13,365,758
株式報酬取引	—	27,402	—	—	—	—	—	27,402
所有者との取引額等 合計	6,784,074	6,609,086	—	—	—	—	—	13,393,160
2021年3月31日残高	6,784,074	22,857,476	—	△8,896,895	261,541	—	261,541	21,006,196

当第1四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)

(単位:千円)

	親会社の所有者に帰属する持分							
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素			資本合計
					在外営業活動 体の換算差額	その他の包括 利益を通じて 公正価値で測 定する金融資 産	合計	
2022年1月1日残高	7,526,244	23,644,664	—	△9,494,299	1,134,939	24,140	1,159,079	22,835,688
四半期損失(△)	—	—	—	△46,444	—	—	—	△46,444
その他の包括利益	—	—	—	—	1,271,340	41,226	1,312,566	1,312,566
四半期包括利益	—	—	—	△46,444	1,271,340	41,226	1,312,566	1,266,122
株式報酬取引	—	9,981	—	—	—	—	—	9,981
新株予約権の行使	1,080	1,080	—	—	—	—	—	2,160
自己株式の取得	—	—	△58	—	—	—	—	△58
所有者との取引額等 合計	1,080	11,061	△58	—	—	—	—	12,083
2022年3月31日残高	7,527,324	23,655,725	△58	△9,540,743	2,406,279	65,366	2,471,645	24,113,893

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期損失(△)	△548,421	△27,296
減価償却費及び無形資産償却費	145,953	257,138
受取利息	△10,617	△16,196
支払利息	6,419	16,534
予想信用損失(△は戻入)	602	17,937
純損益を通じて公正価値で測定する金融資産の 評価損益(△は益)	—	△115
条件付対価取崩益	—	△57,178
株式報酬費用	27,402	12,085
その他	—	△257
運転資本の増減		
契約資産	△360,675	131,913
営業債権	231,966	△172,320
その他の債権	△4,420	53,518
その他の流動資産	△24,061	△25,369
契約負債	27,948	2,589
営業債務	28,028	△135,070
その他の債務	△103,219	△353,532
関係会社その他の債務	△5	—
その他の流動負債	△6,485	△21,679
小計	△589,585	△317,298
利息の受取額	1,148	524
利息の支払額	△6,419	△16,479
法人所得税の支払額	△27,429	△7,977
営業活動によるキャッシュ・フロー	△622,285	△341,230
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△6,343	△10,068
無形資産の取得による支出	△275,694	△466,661
子会社の取得による支出	△495	—
定期預金の払戻による収入	529,460	—
定期預金の預入による支出	△205	△1,162,873
純損益を通じて公正価値で測定する金融資産の 取得による支出	—	△930,691
その他	8	1,631
投資活動によるキャッシュ・フロー	246,731	△2,568,662
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース負債の返済による支出	△115,916	△122,470
株式の発行による収入	13,568,148	56
株式発行費用の支出	△3,553	—
自己株式の取得による支出	—	△58
財務活動によるキャッシュ・フロー	13,448,679	△122,472
現金及び現金同等物の為替変動による影響	59,178	148,061
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	13,132,303	△2,884,303
現金及び現金同等物の期首残高	1,634,707	6,560,906
現金及び現金同等物の四半期末残高	14,767,010	3,676,603

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(親会社の所有者に帰属する持分の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、AISaaS事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。